

お天気解説 アキラのズバツと

雨の強さ

令和8年6月5日

江戸川区気象防災アドバイザー 藤井 聡

6月、もう梅雨が始まりますね。雨のシーズンです。

雨の強さは1時間あたりの降水量が何ミルかで表されます。これは、車などの「時速」とよく似ています。速さは1時間あたりに進む距離で表され、時速40km

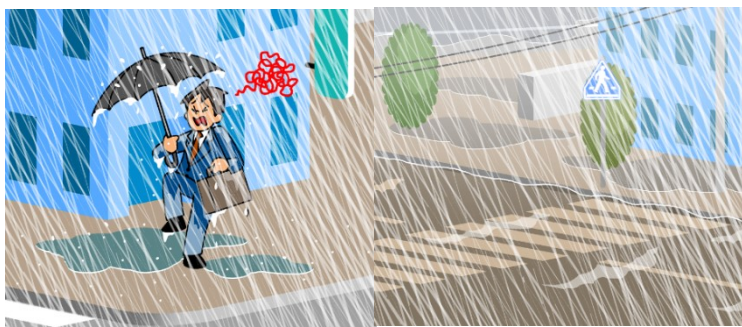


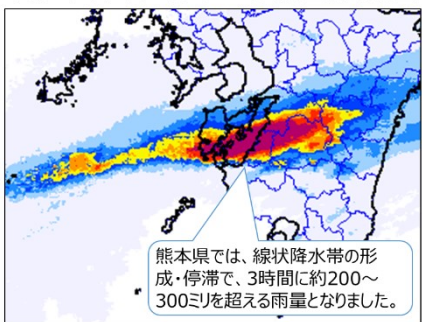
図 非常に激しい雨の様子(イラスト 気象庁提供)

の車、時速285kmで進む新幹線というようにして速さを比べることができますね。雨の強さも時速と同じ考え方で1時間あたりに降る雨の量で表され、1時間2ミルの弱い雨、1時間60ミルの非常に激しい雨というように強さを比べることができます。

非常に激しい雨はゴーゴーと滝のように降り、傘は全く役に立たなくなります。道路では水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなるので車の運転は危険です。1時間80ミル以上の雨は「猛烈な雨」と表現され、計算では30分だけなら40ミル降ることになりますが、2時間続けば160ミルにもなり、江戸川臨海の6月平年の降水量150.3ミルを僅か2時間で超えてしまうこととなります。線状降水帯(大雨を降らせる雲の列)の下では3時間に100~150ミル

線状降水帯の例 (気象庁)

令和2年7月4日6時までの3時間雨量(解析雨量)



1 20 40 60 80 100 120 150 mm (ミリ)

以上もの雨が降っているので水害が発生しやすくなります。

新しい防災気象情報が始まって1週間が経ちましたが、この中に「気象防災速報」が新設されました。これには「記録的短時間大雨」や「線状降水帯発生」「線状降水帯直前予測」があります。こうした大雨の時は、どこでどのくらいの雨が降り、浸水や氾濫の可能性はないのか、情報をしっかり調べるのが大切です。

2026年06月05日11時 気象庁 発表			
日付	今日 05日(金)	明日 06日(土)	明後日 07日(日)
東京地方	曇	曇	曇後一時雨
降水確率(%)	-/-/10/10	10/10/10/20	60
信頼度	-	-	-
東京 気温 (℃)	最高	22	26 (24~28)
	最低	-	17
			19 (18~21)

東京地方の週間天気予報

(気象庁HPから抜粋)

週末は雲が多く、日曜日は雨が降ってきそうですね。

クリックすると気象庁による新しい情報が見られます。